

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：経済数学 ILAS Seminar :Mathematics for Economics			担当者所属 職名・氏名	経済研究所 教授 新後閑 禎		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	10(7)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	月5	教室	経済研究所 第2共同研究室(本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	経済数学						
【授業の概要・目的】							
<p>経済理論の学習に必要な数学を解説する。この講義で扱う数学を理解していれば、学部レベルの経済理論を学習するに際して、数学が障害となって躓く、という事はないはずである。「論理・集合・写像」からはじめて、「実数・連続・位相」および「線形代数・微分」をへて「凸解析」にいたる、「経済数学」の標準的内容を、体系的に解説する。原理的には予備知識は不要だが、現実的には、高校2年生までの数学は既知であることが望ましい。経済学の知識は不要である。唯一必要なのは論理的思考力である。</p>							
【到達目標】							
経済理論の学習において必要な数学が理解できる。							
【授業計画と内容】							
第1回 論理と集合 第2回 集合と写像 第3回 実数と連続 1 第4回 実数と連続 2 第5回 実数と連続 3 第6回 位相・対応の連続性・最大値の定理 第7回 線形代数 1 第8回 線形代数 2 第9回 線形代数 3 第10回 微分 1 第11回 微分 2 第12回 凸解析 1 第13回 凸解析 2 第14回 CES生産関数 第15回 フィードバック：簡単な小テストを行う。							
第1回～第14回は、毎回、詳細な講義ノートを準備する。 第2回～第14回は、毎回、練習問題とその解答を準備する。							
【履修要件】							
特になし							
ILASセミナー：経済数学(2)へ続く							

ILASセミナー：経済数学(2)

[成績評価の方法・観点]

- ・出席と参加の状況：60点
- ・小テスト：40点

[教科書]

使用しない

第1回から第14回まで毎回、講義資料をクラスにアップロードする。

[参考書等]

(参考書)

参考図書を授業中に紹介する。

[授業外学修(予習・復習)等]

第1回から第14回まで毎回配布する講義ノートは、講義前または講義後に、必ず目を通しておくこと。

[その他(オフィスアワー等)]

オフィス・アワーは設けない。